

脳神経センター長からの一言 vol.6

老年脳神経内科ができました

今月(2022年7月1日)から当院の脳神経センターには、老年脳神経内科ができました。波呂(はろ)敬子医師が愛媛大学医学部脳神経内科・老年医学教室から老年脳神経内科部長として着任しました。波呂医師は、老年内科と脳神経内科の両方の専門医を持っていて、これはとても珍しいことです(一つ専門医の資格を取るだけで大変です)。愛媛大学の脳神経内科・老年医学教室は、初代の三木哲郎教授が老年医学の大家でした。現在の二代目の大八木保政教授は、私が九大神経内科の教授をしていたころの弟子になりますが、脳神経内科、特に認知症が専門です。そのため、波呂医師は愛媛大学脳神経内科・老年内科に入局して、両方を勉強することができました。

高齢になると、脳や神経の病気以外にも、高血圧であったり不整脈であったり糖尿病であったりと、様々な病気を抱えていることが普通です。波呂医師は、認知症やパーキンソン病などの老年期に多い脳神経疾患が専門であるばかりでなく、老年期に多い糖尿病や心臓病、腎臓病などの診療経験が豊富です。様々な病気を抱えていても、幅広く対応できますから、安心です。波呂医師の外来は週3回程度です。詳しくは[外来診療体制表](#)にてご確認ください。受診を希望される方は、電話(092-741-5400)で波呂医師の外来を予約できます。

糖尿病や心臓病、腎臓病は、経過が長くなると、脳や神経の合併症をよく起こします。これらの病気を抱えていて、手足がシビレたりフラフラしたりするときは、ぜひ老年脳神経内科を受診されてください。年のせいとか独り決めしないで、専門医に正しい診断をしてもらうのが大切です。きっといい治療法がみつかると思います。

2022年7月18日

脳神経センター長

吉良潤一